



企業による美術館支援の新しい形

MOMAT
Corporate Partnership

MOMAT 支援サークル

ごあいさつ

東京国立近代美術館（The National Museum of Modern Art, Tokyo：通称MOMAT）は、美術作品を収集・保管し、社会一般の観覧に供するという使命を果たすため、不断の調査研究に基づきながら、国民の財産となるコレクションを形成・充実させ、様々なテーマ・ジャンルの展覧会を定期的に開催しています。また、学校を含む地域社会への教育普及という大きな役割も担っています。

美術館の意味は個々人によって異なりますが、文化的教養を高めることのできる展覧会や美術教育の場、快適な観覧環境を提供することで、美術館を訪れた、あるいは美術に触れた国民一人ひとりの生活や人生が豊かになること、幸せな時間を経験できることが、美術館の役割として重要になってきています。

このような美術館の使命を果たす上で、企業の皆様からのご支援があれば、国民の期待に一層応えることができます。企業の皆様におかれましても、社会貢献や企業価値向上のために、文化芸術活動への支援を進めておられます。企業も美術館も同じくサービスの享受者または社会に利益をもたらすということを目指しており、両者がパートナーシップを組むことで、大きなシナジーが生まれることでしょう。

東京国立近代美術館は、このような企業との協働や連携を一層推し進め、新しい美術館利用の可能性を探り、美術館活動の充実強化と来館者の利用環境の向上に努めたいと考えています。そこで、企業と美術館、双方が求め、望むところを叶えるような相互関係を「オーダーメイド」で築くことを目指す「MOMAT支援サークル」を2016年に設立しました。

東京国立近代美術館の強みは、なんといっても我が国屈指の作品群コレクションです。文化的価値の高い美術作品に加え、施設面においても、エントランスロビーや講堂、付随する魅力的なレストランなど、企業サイドからの様々な活用希望について検討・開拓できる大きな可能性があります。MOMAT支援サークルを通じて、パートナー企業の皆様と、長期にわたる良好な関係を発展させることができましたら幸甚に存じます。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

独立行政法人国立美術館
東京国立近代美術館



MOMAT支援サークルについて

東京国立近代美術館がご提案する「MOMAT支援サークル」(MOMAT Corporate Partnership)は、従来の美術館にみられる賛助会や友の会制度とは異なり、企業と美術館が「パートナー」となって一緒に作り上げる、企業に特化した美術館支援のシステムです。

パートナー企業は、支援の形態や充当先、美術館が提供する特典などを、企業のニーズによって選ぶことができます。企業の皆様には、東京国立近代美術館の活動を支援することで、文化支援企業として広く一般に周知されます。さらに、明治、大正、昭和、平成と、4つの時代をカバーする日本屈指の美術のコレクションを社員証で無料見学できる特典などにより、企業の福利厚生や職員一人ひとりの文化活動の充実を図ることができます。また、美術館の閉館時に館内や前庭などのスペースでプライベートイベントを開催できる特典*は、皇居の向かいに位置する東京国立近代美術館という特別な環境で過ごすひと時をお客様に提供することで、企業ブランドにとっての付加価値を生み出すことが期待されます。このように、MOMAT支援サークルを通して、企業の皆様には様々なレベルでのブランドイメージアップをご期待いただけます。

また、東京国立近代美術館は独立行政法人国立美術館の運営下にあるため、MOMAT支援サークルにご加入いただくと、プランに応じて、東京、京都、大阪にある他の国立美術館における特典*がご利用いただけるなど、従来の美術館では実現し得なかった特典もございます。

(＊プラチナパートナーのみの特典)

パートナープラン

MOMAT支援サークルでは3種類のパートナープランをご用意し、ご支援いただく金額に応じて、様々な特典をご提供させていただきます。皆様からのご支援は、展覧会の開催、調査研究、作品の収集と保管、教育普及活動、美術館運営事業などに充当されます。また、ご支援の充当先や特典等に関して、皆様のご要望にお応えできるよう、カスタマイズすることも可能です。

		1年	3年
プラチナパートナー	PLATINUM	300万円	750万円
ゴールドパートナー	GOLD	100万円	250万円
シルバーパートナー	SILVER	50万円	125万円



東京国立近代美術館

東京国立近代美術館について

東京国立近代美術館は、1952年に開館した日本で最初の国立美術館です。美術館と国立工芸館を有し、日本における文化芸術の振興並びに美術振興の中核的な拠点として、美術に関する作品等を広く皆様に紹介するとともに、充実したナショナルコレクションの形成、保管、継承を主なミッションとしています。

皇居の向いに位置する美術館では、横山大観、菱田春草、岸田劉生らの重要文化財15点（2点は寄託作品）を含む13,000点を超える充実したコレクションから、会期ごとに選りすぐった約200点を展示する「MOMATコレクション」展と、年に数回、国内外の美術を特定のテーマや切り口で構成する大型の企画展を開催しています。世界の近代美術の潮流の中で、日本の近代美術の系譜をたどり、19世紀末から今日に至るまでの日本の美術の流れを俯瞰できるのが当館の大きな特徴です。

そのほか、継続的な調査研究や図書・資料の収集、そして企画や所蔵作品にちなんだ講演会やシンポジウム、ギャラリートーク、作品解説などを開催するほか、近年はオンラインでの対話鑑賞プログラムやソーシャルメディアを通じた美術館活動の発信にも力を注いでいます。

美術館の周辺には、皇居、北の丸公園、千鳥ヶ淵など、自然豊かな環境が広がっており、いずれも国内有数の桜の名所であることから、特に春には地域一帯が華やかに賑わいます。東京駅から徒歩でもお越しいただけ、一年を通じて美術館と併せた散策が楽しめます。



眺めのよい部屋



所蔵品展4F



所蔵品展2F



国立工芸館 外観（写真：太田拓実）

国立工芸館について

国立工芸館は近現代の工芸・デザイン専門の美術館です。1977年に東京の北の丸公園に「東京国立近代美術館工芸館」として開館し、2020年に石川県金沢市へ移転。2021年には館名を「国立工芸館」と改めました。

陶磁、ガラス、漆工、木工、竹工、染織、人形、金工、工業デザイン、グラフィック・デザインなどの各分野にわたって、総数4,000点以上を収蔵しています。

展覧会は特定のテーマに基づいた所蔵作品展または企画展を年に4～5回開催。展示室のほかに、工芸の各技法や専門用語などをわかりやすく説明したデジタル鑑賞システムを備えた「工芸とであう」や、漆芸家・松田権六（1896-1986）の工房を移築・復元した「松田権六の仕事場」のコーナーを常設しています。

他にも工芸・デザインに関する資料が閲覧できる「アートライブラリ」や、書籍やグッズを扱う「ミュージアムショップ」も併設しています。

建物は明治期に建てられた国登録有形文化財の旧陸軍第九師団司令部庁舎と旧陸軍金沢偕行社を移築するとともに、過去に撤去された部分や外観の色などを復元して活用しています。



金子潤 《Untitled (13-09-04)》2013年（写真：太田拓実）



松田権六の仕事場（写真：太田拓実）

独立行政法人国立美術館について

独立行政法人国立美術館は、我が国における芸術文化の創造と発展、国民の美的感性の育成を使命とする、美術振興の中心的拠点です。東京国立近代美術館〔美術館（東京・竹橋）・国立工芸館（石川・金沢）〕、国立西洋美術館（東京・上野）、国立新美術館（東京・六本木）、京都国立近代美術館（京都・岡崎公園）、国立国際美術館（大阪・中之島）、国立映画アーカイブ（東京・京橋）を設置するとともに、法人本部に国立アトリサーチセンターを設置し、それぞれの役割や特色にあわせた個性豊かで多彩な活動を展開しています。



国立国際美術館



国立映画アーカイブ



国立西洋美術館



国立新美術館



京都国立近代美術館

皆様にご支援いただく東京国立近代美術館の活動

展覧会の開催

美術館では、所蔵作品展と企画展を行っています。重要文化財18点（内2点は寄託作品）を含む日本有数の近代美術コレクションを公開する所蔵作品展「MOMATコレクション」は、関連する海外の作品を交えながら、19世紀末から今日までの日本の美術の流れを概観できるよう展示しています。13,000点を超えるコレクションの中から毎会期約200点を選び、ほぼ時代ごとに章分けして構成しています。年数回の大きな展示替えを行いながら、特定の作家やテーマに沿った特集展示や小企画を開催して、多様な角度から所蔵作品に光を当てています。

企画展は、1階の企画展ギャラリーで特定のテーマに基づいて国内外の美術作品を展示するもので、年3～4回開催しています。

国立工芸館では、時期により所蔵作品展または企画展を行っています。所蔵作品展では、我が国の近・現代工芸の秀作を中心に、4,000点を超す所蔵作品の中から100点前後の作品を選び、近代工芸の歴史や名品の展示、特定のテーマを含む展示などを開催しています。企画展は、特定のテーマに基づいて国内外の工芸作品を展示するものです。

調査研究

展覧会の企画・立案、美術館教育の実施、作品の新規収蔵・展示・保全、図書資料・歴史資料などの収集や情報発信等のための調査研究活動を行っています。調査研究は、すべての事業の基礎になっている点で、きわめて重要な活動です。また、その成果は、展覧会・コレクション・ライブラリなどの充実という形で直接、利用者に還元されるところが、調査研究活動の大きな特色です。



「あやしい絵展」ポスター



「隈研吾展 新しい公共性をつくるためのネコの5原則」ポスター



「眠り展: アートと生きること ゴヤ、ルーベンスから塩田千春まで」ポスター



「たんけん! こども工芸館 ジャングル⇔パラダイス」展ポスター

運営事業

館の様々な事業を実現させるため、また来館者のニーズに応え、より快適で充実した観覧環境を提供するため、設備の維持・改善や全体の広報、調査などを含めた運営管理を行っています。



ポール・セザンヌ《大きな花束》1892-95年頃

作品の収集と保管

東京国立近代美術館では、19世紀末から今日までの美術作品を収集しています。収集対象は、絵画、版画、水彩、素描、彫刻、写真、映像、書、及び関連する資料などの多分野にわたり、点数は13,000点を超えます（2023年2月現在）。近現代の日本の作品を中心にしながら、同時代の海外作品も積極的に収集しています。

国立工芸館では、明治以降今日までの日本と外国の工芸およびデザイン作品を収集しています。特に、多様な展開を見せた戦後の作品に重点を置いています。陶磁、ガラス、漆工、木工、竹工、染織、人形、金工、工業デザイン、グラフィック・デザインなどの各分野にわたって総数4,000点以上を収蔵しています。



北原千鹿《羊置物》1928年



二十代堆朱楊成《彫漆六華式平卓》1915年

教育普及活動

一般来館者向けプログラム

- 企画展や所蔵作品展に関する講演会、シンポジウム、コンサートなどの開催
- ギャラリートーク、キュレーター・トーク、オンラインプログラムなど
- 鑑賞補助ツールの提供：音声ガイド、こどもセルフガイド、大人セルフガイド、鑑賞カードなど
- 所蔵作品に関する動画の配信
- ウェブサイトの運営による情報発信、作品・図書検索



「夏休み！こども美術館」



「おやこでトーク」



ガイドスタッフによる所蔵品ガイド

子ども・学校向けプログラム

- 鑑賞プログラム：こども美術館、おやこでトーク、こども工芸トークオンラインなど（鑑賞ワークショップ）
- 教材：アートカード、セルフガイド
- 教員研修：教員団体への研修、先生のための鑑賞講座
- 学校団体の来館時対応：ギャラリートーク、オリエンテーション、修学旅行など



工芸トークオンライン



ワークショップ（ピカ☆ボコバジ）

プラチナパートナー

1年：300万円 / 3年：750万円

1. 企業名の掲出

美術館

- 入口石垣に設置されたプレートに企業ロゴを掲載
- 1階エントランスに設置されたプレートに企業名を記載



国立工芸館

- 館受付に設置されたサイネージに企業名を記載



国立工芸館 外観（写真：太田拓実）

MOMATホームページ

- トップページ下部に企業ロゴの掲載
- 「MOMAT支援サークル」ページに企業ロゴを掲出

その他

- 自主企画展のポスターやチラシに企業名を記載（＊他の協賛社・協賛者がいない場合に限り）
- 美術館概要、『現代の眼』などに企業ロゴを掲載

2. 美術館スペースの利用

美術館1階エントランスロビー、講堂、レストラン「ラー・エ・ミクニ」（テラスを含む）において、PRや商品発表、特別なクライアントへのサービスなどを目的としたプライベートイベントを年1回開催することができ、スペース利用料が免除されます。

＊月曜休館日の終日、または金曜日・土曜日を除く開館日の閉館後18時以降（23時完全撤収）

＊ケータリングやテクニカルチャージは主催者のご負担

〈セット例〉

- エントランスロビーでのプライベートイベントの前に、講堂にて記者発表会等を開催。
- エントランスロビーや講堂でのプライベートイベントの前後に、所蔵作品展を見学。（看視等の費用が別途発生。）



美術館前庭とエントランスロビー

3. 企業イメージ、広報に関する特典

東京国立近代美術館所蔵作品展の鑑賞会（解説付き）

この特典は、職員を対象とすることもできますし、クライアントを対象とすることもできます。

1. 自社の職員を対象

自分の勤める会社の文化・芸術支援活動を再認識することで、社員一人ひとりの会社に対する誇りや、自身の文化貢献意識を高めることにつながります。また見学会の後、家族や友人を誘い美術館に来ることにつながれば、文化や美術がより身近な存在となるでしょう。

2. 顧客を対象

クライアントを招待することで、文化支援企業としてのブランドイメージアップにつながります。

*年2回まで、休館日および閉館時間帯に開催。（警備、施設管理、看視等費用は主催者のご負担）。1グループ最大40名まで。

東京国立近代美術館の建物および所蔵作品の画像の無料使用

年間活動報告、ホームページ内文化支援活動ページ、社内報など、販売促進を目的としない媒体で、企業の文化・芸術支援活動を広報する際に、建物や所蔵作品の画像を無料で使用できます。

*画像の使用に関しては、美術館の定める使用条件に従っていただきます。

4. その他の特典

国立美術館における特典

所蔵作品展の無料見学

パートナー企業の職員は、社員証の提示で、以下の国立美術館の常設展および所蔵作品展を無料で観覧できます。（※国立工芸館は所蔵作品展と企画展（一部例外有）が無料。）社員証をお持ちの方ご本人と同伴者1名までの無料観覧が可能です。

1. 東京国立近代美術館（東京・北の丸公園／石川・金沢）
2. 国立西洋美術館（東京・上野公園）
3. 京都国立近代美術館（京都・岡崎公園）
4. 国立国際美術館（大阪・中之島）
5. 国立映画アーカイブ（東京・京橋）*対象：7階展示室（※コレクションをもたない国立新美術館は除く）

東京国立近代美術館におけるその他の特典

- 企画展の開会式・内覧会の特別招待状：各展5通
- 所蔵作品展招待券（美術館・国立工芸館）：各100枚
- 企画展招待券（美術館・国立工芸館）：各展50枚
- ミュージアムショップ割引：10%（社員証の提示）
※一部対象外商品あり
- レストラン「ラー・エ・ミクニ」割引：10%（社員証の提示）

パートナー企業を対象とした

支援に対する感謝のVIPディナーへの招待

ディナーの前に、所蔵作品展あるいは企画展のプライベート見学（解説付き）を行います。同業、異業種のパートナー企業の皆様の出会いと交流の場となります。



レストラン「ラー・エ・ミクニ」

1. 企業名の掲出

美術館

- 1階エントランスに設置されたプレートに企業名を記載

国立工芸館

- 館受付に設置されたサイネージに企業名を記載

MOMATホームページ

- トップページ下部に企業ロゴの掲載
- 「MOMAT支援サークル」ページに企業ロゴの掲載

その他

- 自主企画展のポスターやチラシに企業名を記載
（＊他の協賛社・協賛者がいない場合に限り）
- 美術館概要、『現代の眼』などに企業ロゴを掲載

2. 美術館スペースの利用

美術館地下1階の講堂を無料で利用できます。

＊年1回、開館時間帯での利用。

＊2回目以降のご利用は、割引料金が適用されます。



美術館講堂

3. 企業イメージ、広報に関する特典

東京国立近代美術館所蔵作品展の鑑賞会（解説付き）

この特典は、職員を対象とすることもできますし、クライアントを対象とすることもできます。

1. 自社の職員を対象

自分の勤める会社の文化・芸術支援活動を再認識することで、社員一人ひとりの会社に対する誇りや、自身の文化貢献意識を高めることにつながります。また見学会の後、家族や友人を誘い美術館に来ることにつながれば、文化や美術がより身近な存在となるでしょう。

2. 顧客を対象

クライアントを招待することで、文化支援企業としてのブランドイメージアップにつながります。

＊年1回まで、開館時間帯に開催。休館日および閉館後の見学をご希望の場合は、別途警備、施設管理、看視等費用が発生します。1グループ最大20名まで。

東京国立近代美術館の建物および所蔵作品の画像の無料使用

年間活動報告、ホームページ内文化支援活動ページ、社内報など、販売促進を目的としない媒体で、企業の文化・芸術支援活動を広報する際に、建物や所蔵作品の画像を無料で使用できます。

＊画像の使用に関しては、美術館の定める使用条件に従っていただきます。

4. その他の特典

東京国立近代美術館の所蔵作品展の無料見学

パートナー企業の職員は、社員証の提示で所蔵作品展を無料で観覧できます。（※国立工芸館は所蔵作品展と企画展（一部例外有）が無料。）社員証をお持ちの方ご本人と同伴者1名までの無料観覧が可能です。

東京国立近代美術館におけるその他の特典

- 企画展の開会式・内覧会の特別招待状：各展5通
- 所蔵作品展招待券（美術館・国立工芸館）：各50枚
- 企画展招待券（美術館・国立工芸館）：各展25枚
- ミュージアムショップ割引：10%（社員証の提示）
- レストラン「ラー・エ・ミクニ」割引：10%（社員証の提示）

パートナー企業を対象とした

支援に対する感謝のVIPディナーへの招待

ディナーの前に、所蔵作品展あるいは企画展のプライベート見学（解説付き）を行います。同業、異業種のパートナー企業の皆様の出会いと交流の場となります。



旧陸軍金沢偕行社（2F多目的室）（写真：太田拓実）

1. 企業名の掲出

美術館

- 1階エントランスに設置されたプレートに企業名を記載

国立工芸館

- 館受付に設置されたサイネージに企業名を記載

MOMATホームページ

- トップページ下部に企業ロゴの掲載
- 「MOMAT支援サークル」ページに企業ロゴの掲載

その他

- 美術館概要、『現代の眼』などに企業ロゴを掲載



上村松園《母子》1934年

2. 企業イメージ、広報に関する特典

東京国立近代美術館の建物および所蔵作品の画像の無料使用

年間活動報告、ホームページ内文化支援活動ページ、社内報など、販売促進を目的としない媒体で、企業の文化・芸術支援活動を広報する際に、建物や所蔵作品の画像を無料で使用できます。
*画像の使用に関しては、美術館の定める使用条件に従っていただきます。

3. その他の特典

東京国立近代美術館の所蔵作品展の無料見学

パートナー企業の職員は、社員証の提示で所蔵作品展を無料で観覧できます。（※国立工芸館は所蔵作品展と企画展（一部例外有）が無料。）社員証をお持ちの方ご本人のみ無料観覧が可能です。

東京国立近代美術館におけるその他の特典

- 企画展の開会式・内覧会の特別招待状：各展2通
- 所蔵作品展招待券（美術館・国立工芸館）：各20枚
- 企画展招待券（美術館・国立工芸館）：各展10枚
- ミュージアムショップ割引：10%（社員証の提示）
- レストラン「ラー・エ・ミクニ」割引：10%（社員証の提示）

パートナー企業を対象とした

支援に対する感謝のVIPディナーへの招待

ディナーの前に、所蔵作品展あるいは企画展のプライベート見学（解説付き）を行います。同業、異業種のパートナー企業の皆様の出会いと交流の場となります。



レストラン「ラー・エ・ミクニ」



アンリ・ルソー
 《第22回アンデパンダン展に参加するよう芸術家たちを導く自由の女神》
 1905-06年

特典

特典一覧

企業名の掲出

	PLATINUM プラチナパートナー 300万円	GOLD ゴールドパートナー 100万円	SILVER シルバーパートナー 50万円
美術館外石垣プレートに企業ロゴ	○	—	—
美術館エントランスプレートに企業名	○	○	○
国立工芸館受付サイネージに企業名	○	○	○
MOMAT Webサイトトップページに企業ロゴ	○	○	○
MOMAT Webサイト「MOMAT支援サークル」ページに企業ロゴ	○	○	○
自主企画展のポスターやチラシに企業名 (他の協賛社・協賛者がいない場合に限り)	○	○	—
美術館概要、『現代の眼』などに企業ロゴ	○	○	○

美術館スペースの利用

	PLATINUM プラチナパートナー 300万円	GOLD ゴールドパートナー 100万円	SILVER シルバーパートナー 50万円
本館1階エントランスロビー利用料免除	年1回	—	—
講堂の利用料免除	年1回	年1回	—

企業イメージ、 広報に関する特典

	PLATINUM プラチナパートナー 300万円	GOLD ゴールドパートナー 100万円	SILVER シルバーパートナー 50万円
所蔵作品展鑑賞会	年2回 1回40名まで	年1回 1回20名まで	—
建物および所蔵作品の画像の無料使用	○	○	○

その他の特典

	PLATINUM プラチナパートナー 300万円	GOLD ゴールドパートナー 100万円	SILVER シルバーパートナー 50万円
社員証提示による常設展・所蔵作品展の無料観覧	国立美術館5館 (同伴1名) (国立新美術館を除く)	東京国立近代美術館 のみ (同伴1名)	東京国立近代美術館 のみ (本人のみ)
企画展開会式・内覧会特別招待状（美術館・国立工芸館）	各展5通	各展5通	各展2通
所蔵作品展招待券（美術館・国立工芸館）	各100枚	各50枚	各20枚
企画展招待券（美術館・国立工芸館）	各50枚	各25枚	各10枚
ミュージアムショップ割引10% (※一部対象外あり商品あり)	○	○	○
レストラン「ラー・エ・ミクニ」割引10%	○	○	○
VIPディナーへの招待	○	○	○

お問い合わせ

独立行政法人国立美術館

本部事務局 渉外・広報課 ファンドレイジング担当
 Tel : 03-3214-2619 (担当直通)
 E-mail : kifu@artmuseums.go.jp
www.artmuseums.go.jp
www.momat.go.jp



東京国立近代美術館

〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1

アクセス 東京メトロ東西線竹橋駅 1b出口より徒歩3分

開館時間 10:00-17:00、金曜日・土曜日は20:00まで
(入館は閉館30分前まで)

休館日 月曜日(祝休日の場合は開館し、翌平日は休館)
展示替期間、年末年始

国立工芸館 (東京国立近代美術館)

〒920-0963 石川県金沢市出羽町3-2

アクセス JR金沢駅 東口(兼六園口)からバス

【3番のりば】18系統に乗車(約12分)、
「広坂・21世紀美術館(石浦神社前)」下車徒歩7分
【7番のりば】どの系統でも乗車可(約11分)、
「広坂・21世紀美術館(しいのき迎賓館前)」下車徒歩9分
【6番のりば】乗車(「柳橋」行きを除く)(約12分)、
「出羽町」下車徒歩5分

開館時間 9:30-17:30 (入館は閉館30分前まで)

休館日 月曜日(祝休日の場合は開館し、翌平日休館)、展示替期間、年末年始